

それぞれの夏休み2020



空中ブランコとバーベキュー

受付：河野

今年の夏は、家族全員で、淡路島の山の上にある、プチトマト食べ放題のバーベキューに出かけました。

山を切り開いて作られた会場には、アルプスの少女ハイジに出てくるような木の枝を利用した空中ブランコがありました。ワイワイ騒ぎながら、お皿一杯に盛り付けされた淡路島の海の幸、山の幸を満喫し、童心に帰り、思い出に残る素敵な一日を過ごしました。



うちの猫ちゃん

診療助手：中村

まだ四ヶ月の保護猫の里親になりました。うちに来たばかりのときには夜鳴きをしていましたが、今は家の中を元気に走り回っています。その元気さに元々うちにいた三歳の猫もびっくりさせていることがあります。



今年の夏休み2020年8月

受付：西山

今年の夏休みは、自宅で長女家族4人とリモートワークで夏休みの無い次女、そして私たち夫婦の7人で過ごすことになりました(^_^)

早朝からの蝉取りや自転車遊び、そして毎日のプール遊びと充実をしていました。特に孫の成長を身近に感じる事が出来、素晴らしい思い出を残すことが出来ました。コロナにも負けず、夏の暑さにも負けず。子供たちの元気な笑い声が、私たち家族を元気にしてくれました！



私の夏休み

診療助手：奈良

『お盆休みは、帰って来ない方が良いね。もしもの事（コロナ）があったら困るから・・・』と、母親からの電話がありました。私も悩んでいたのも、少しホッとしたのも事実です。休み中は、お花の寄せ植えをしたり、三密にならない様に須磨アルプス『馬の背』に登って、木々の鼓動に包まれながら癒されました。



親切・丁寧・笑顔がモットー

梶川眼科医院 情報誌 (年4回季刊発行)

瞳きらきら通信

TEL 078-732-0091 兵庫県神戸市須磨区前池町3-4-1

2020
秋
vol.38



院長ごあいさつ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当初プロ野球は無観客試合で開催。7月10日、甲子園球場での開幕試合に行ってきたが、4万5千人収容のところ5千人限定です。入り口ではサーモカメラでのチェック、アルコール手指消毒もあり、さらにチケットにはQRコードが印刷されていて感染者の追跡調査もできるようになっています（驚）。当然マスク着用。水際対策やその後の対策も万全です。球場内での対策で目を引いたのが、ソーシャルディスタンス。

シートとシートの間隔は1-2つの空席があり、座らないように選手へのメッセージが貼られていました。実に面白いアイデアで、見ていてワクワクします。アルプススタンドは、無観客でなんか寂しい限り。甲子園名物であるジェット風船の使用が出来ないので、その光景がプリントされたタオルを皆さんで掲げます。声を張り上げての応援などは、飛沫が飛ぶ行為にあたるため禁止されており、チャンス



マーチやわっしょいコールの時に大声で応援する僕にとってはストレス溜まりまくり（苦笑）。応援メガホンを叩いての応援は可能なので、叩きまくりです。勝利のセレモニーである六甲嵐も歌うことが出来ず、これも辛すぎます（涙）。

Withコロナの新たな生活様式は、色んな場面でまだまだ続きそうです。職場では、3密回避のため全員が集まってのミーティングを催すことが出来ないで、ZOOMを使ってのオンライン会議を試みています。ホスト役の院長が、パソコン音痴で使い方をいまいち把握していないので、初回は正直グダグダでした（苦笑）。1つの画面でメンバー皆さんと意見交換がしっかり出来るように調整を図りたいと思います。

コラム数珠つなぎ



今回は、診療助手・田中がお届けします！

今年は新型コロナウイルスによって、大変な状況の毎日で気分が落ちてしまう事も多いです。そこで気分が上がる美味しいものをご紹介します！

みなと元町エリアにある隠れ家カフェの季節限定スイーツです。こんな時期なので万全の対策でいざ出陣！！お店でもコロナ対策をしてくれていたの安心でした。

限定の桃パフェを食べると決めて着席したもののパフェにケーキにジュエルに桃スイーツの数々！どれも捨てがたい…結局パフェとジュエルを決断！パフェは器から落ちてしまいそうくらい桃がのっていてジュエルは桃の中にクリームが入っててキラキラして冷たい。どちらも甘くて美味しくって幸せな時間を過ごす事ができました。



お遍路さん結願

梶川大介



家内と二人三脚で始めたお遍路さん。平成28年10月9日、霊場第46番・浄瑠璃寺からスタートし、3年9ヶ月かけて四国八十八ヶ所の霊場をすべて納経し終えました。霊場第86番・志度寺で結願。

お遍路さんとは、弘法大師(空海)の足跡をたどり、四国八十八ヶ所の霊場を巡拝することです。

お遍路さんの良いところは、巡礼の順番・方向・手段などかなり自由なこと。私たち夫婦の場合、市街地を巡る際には車遍路、チャリンコ遍路を選択し、自然が綺麗なところでは歩き遍路で達成感を味わうことも出来ます。

四国各県の名物料理に舌鼓を打てたのも良かったです。

今まで出逢ったお遍路さんで最も驚いたのは、四国一周1400Km完歩を目指している方でした。凄すぎる!!1つのお寺を巡るのに3日かかったこともあったとか(驚)。

格好もさほど堅苦しいものでなくても良いので、菅笠は被らず、金剛杖も付かず、輪袈裟を付けた白衣だけを纏っていました。

なかなか作法を覚えられませんが、手水場での手洗いや鐘つきを忘れることはあっても、本堂と大師堂にもロウソクとお線香をあげ、願い事を書いてある納札を納め、般若心経を夫婦揃って読経することは完璧です。何周も巡礼をされておられるベテランの方は、暗記されているみたいですが。

白衣の後ろに書かれている「南無大師遍照金剛」も唱えます。「南無」信じることを開いて、「大師」お大師さまに守られて、「遍照」他人に対しても優しさ思いやりを持って、「金剛」自分自身に厳しくという意味です。

参拝した証として納経帳に墨書授印をして頂くのですが、ホント達筆で素晴らしい。

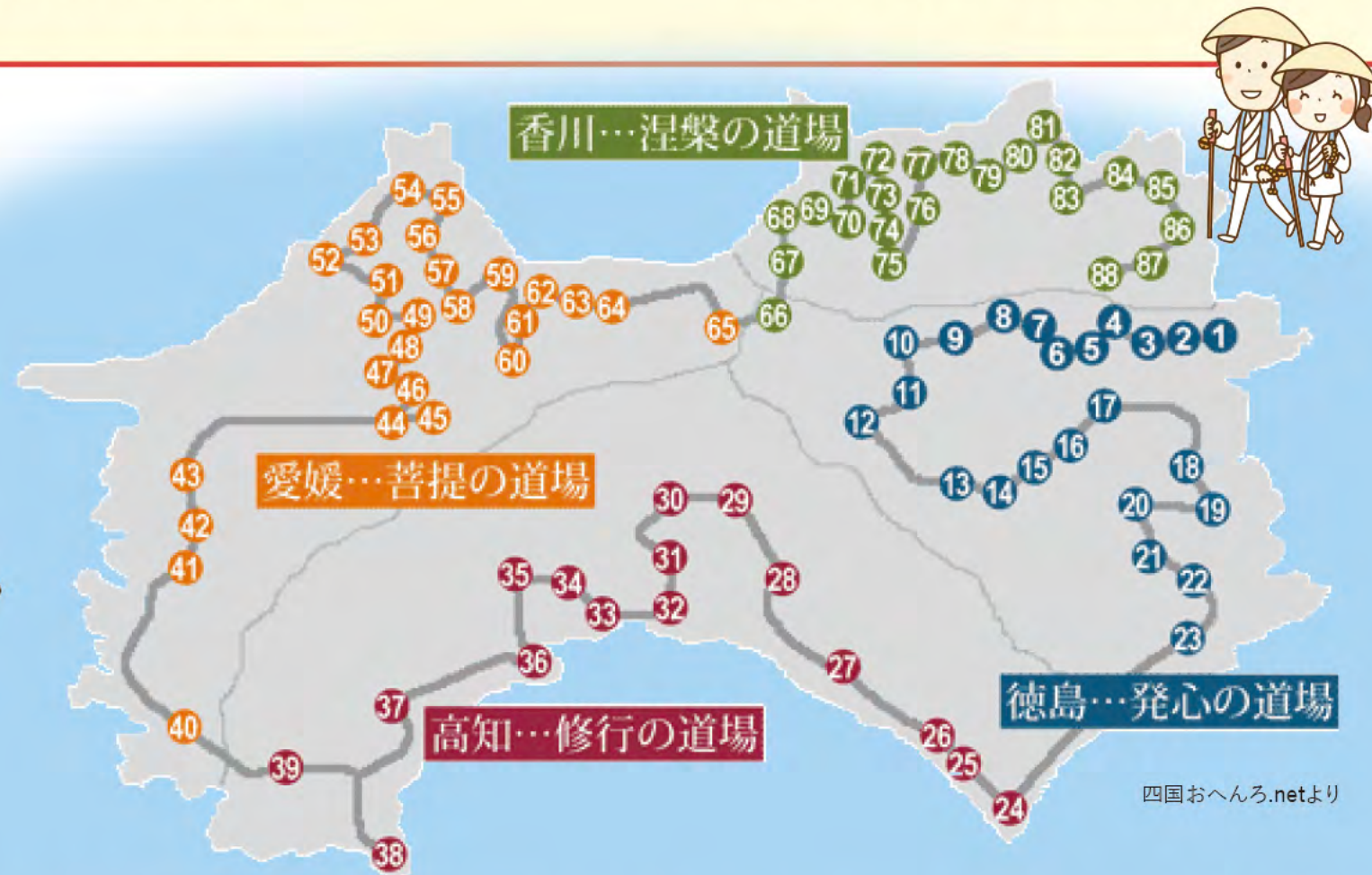
旅館やビジネスホテルを利用した宿泊が多かったですが、お薦めは宿坊です。

例えば、仙遊寺は、天然温泉付き、お寺の農園で採れた季節の野菜を使った精進料理の一泊二食で6000円。かなりリーズナブル。朝6時からお勤めで、ご住職から茶目気づりの面白おかしいお話から心に染み入る話まで拝聴させて頂き本当に良かったです。ご本尊である千手観世音菩薩は、あらゆる苦しみから救ってくださいます。そのお顔を拝見しているだけで、すう〜と心が和みます。宿坊に泊まらないと、こんなにも間近で拝顔するのはなかなか難しいと思います。

お遍路さん泣かせの最大難所「遍路転がし」を有する焼山寺。「遍路転がし」とは、お遍路さんを転げ落とすような険しい山道のことで。3度の登りと2度の下り、累積高低差が1100mにも及ぶ上級コースで、歩行距離も約20km。6つの「お遍路転がし」があり、登りも下りも本当にキツくて、二人ともお遍路道を黙々とひたすら歩く、歩く。。。階段を見上げれば、大きな杉の背後から太陽光が燦々と注がれ、穏やかな表情で佇む弘法大師像。まさに「同行二人」で、いつも弘法大師さまが見守ってくださる感じ。パワースポットです。お昼ご飯と参拝の時間を除いても、正味6時間を完歩!!足痛が酷くて夫婦揃って前かがみで歩き方が変でした(苦笑)。

四国霊場の数は88。なぜ88なのかは定かではありませんが、人間の煩惱の数だとか。霊場を廻ることでその煩惱が一つ一つ消えていくと言われているので、すべての煩惱が消えているはず(笑)。

霊場第88番・大窪寺は、既に参拝を済ませていたのですが、「結願証」が欲しくて再び参拝し、書いて頂きました。結願したので、年内にはお大師さまの聖地・高野山をお参りして、仕上げの御朱印を頂くことに致します。



四国おへんろ.netより

